

本全時彦 (株)デザインボード 代表取締役



本年度のこの部門は、昨年に比して3点のプラスであった。他の部門はマイナスが多い中で喜ばしいことである。新しい広告主の応募があり、プラスになったと思われる。

7年ぶりに堀場製作所が1票差で首位となり、三菱電機（金賞）を抑え、経済産業大臣賞まで登りつめた。カレンダーが経済産業大臣賞を受賞したのは、1998年のクボタ、2003年の東洋インキ製造に続き3回目である。去年はポスターが経済産業大臣賞を受賞したが、これは変化である。継続は力なり、特に今回の堀場製作所の作品は、鳥のくちばしで親しみやすさと、美しい色と形の豊かさで、近年にない秀作で1票の差がついたと思われる。カレンダーの講評を担当している者として、うれしい限りである。

● **金賞** 三菱電機「雅の心 HEAT OF GRACE “風”」：ヨコ型（515cm×728cm）、Photographed by YASUTAKA TANJIの6枚ものカレンダーである。風をテーマにした写真で構成され、徹底的な和の世界である。上部は和綴じである。表紙は書家の「風」の書である。TANJI氏の風景写真がタテにヨコに8枚から4枚カットされ構成されている。風が感じられるように短冊状にゆらぐようになされている。和紙風の特許紙が使用されている。風のコンセプトを受けてここまでやるか、という感じである。率直な気持ち、少しやりすぎではないかと思われる。最後にまとめられた写真の解説がわかりやすい。良いことである。

● **銀賞** パラドックス・クリエイティブ「NIGHT DREAMS」：タテ型（365cm×258cm）、

6枚もののクリエイティブ会社の自社カレンダーである。特徴は蓄光インクを使い、暗いところでもイラストの部分と玉が光り、楽しいカレンダーである。メルヘンの世界に誘われる。汽車、ゴンドラ、雪景色と楽しい。蓄光インクの仕掛け、ときめき、こまやかなまとまりで評価を受けた。

● **銅賞** 大日精化工業「2010 Dainichiseika Art Calendarパウル・クレール 緑と色彩のコスモス」：ヨコ型（380cm×273cm）で、壁掛けとカウンター併用型。コンパクトな形にまとめられ、使いやすいカレンダーである。6枚の作品の選択がすぐれている。1・2月の顔のインパクトと色彩の美しさで引きつけ、クレールの特徴ある作品で構成されている。前後にあるクレールの解説は画集に匹敵する力がある。ファンにとってはたまらない魅力的なカレンダーである。

● **特別賞** 北野精機「研究室用専用カレンダー」：タテ型（450cm×250cm）の12枚もの。世界初の研究室用専用、限定カレンダーのユニークさが評価された。4月からスタートして3月で終了している。イラストが面白いが、何よりもコピーである。たくみに月々をとらえている。赤とスミ2色でコストをおさえている。12枚で構成されているので1ヵ月ごとの刺激が楽しい。下部の研究者と生きるKATANOの企業姿勢が良い。コピーで特別賞に選ばせていただいた。金賞にも値するほどの素晴らしい作品である。大喝采である。